

平成 30 年度事業報告書

公益財団法人ふるさといわて定住財団

平成 30 年度は、国内、県内とも景気は緩やかな回復基調が続く中で、債券利回りは日銀の大規模な金融緩和政策により低水準で推移した。

また、県内の雇用情勢は、有効求人倍率が 4 月以降 1.45 倍前後と年度を通じて高い水準で推移した。

平成 31 年 3 月県内卒業予定者の就職内定率は、大学が前年度と同じ 96.4%、また、専修学校、高校とも前年度を上回っており、特に高校生は 99.9%と高水準にある。就職希望者のうち県内就職を希望する者の割合をみると、大学が約 4 割、専修学校が約 5 割、高校が約 7 割となっており、県内就職希望者の内定率はいずれも前年度を上回っている。

〔平成 31 年 3 月県内卒業予定者の就職内定状況〕（平成 31 年 3 月末現在：同年 4 月 26 日岩手労働局公表）

種別	内定先	就職希望者数	内定者数	内定率	前年比
大学	全国	1,908 人	1,840 人	96.4%	+0.0
	うち県内	829 人 (43.4%)	793 人	95.7%	+0.7
専修学校	全国	1,637 人	1,571 人	96.0%	+0.5
	うち県内	830 人 (50.7%)	792 人	95.4%	+0.4
高校	全国	3,045 人	3,043 人	99.9%	+0.2
	うち県内	2,102 人 (69.0%)	2,100 人	99.9%	+0.3

財団が主催した平成 30 年度の就職面接会等は、従来のガイダンスを前倒しで 3 月に実施したいわて就職マッチングフェアを除くと、総じて学生等求職者の参加者数は減少した。求職者側のいわゆる「売り手市場」であること、内定早期化、県内企業の知名度が低いことが背景にあると考えられる。

〔面接会等参加企業・参加学生等推移〕

（単位：社・人）

年度	区分	いわて就職 ガイダンス	いわて就職面接会				いわて就職 マッチング フェア I	岩手県 U・I ターン フェア		合 計
			I	II	III	IV		I	II	
30 年度	企業	180	185	170	144	55	184	60	50	1,028
	学生等	380	199	120	100	72	393	56	58	1,378
29 年度	企業	156	153	155	144	107	-	54	61	830
	学生等	442	247	192	139	136	-	41	66	1,263
増減	企業	+24	+32	+15	0	-52	+184	+6	-11	+198
	学生等	-62	-48	-72	-39	-64	+393	+15	-8	+115

法人運営では、より金利の高い債券への買い替えなど適切な資産運用に努めた。また、労働契約法の一部改正に対応し、有期労働契約から無期労働契約への転換ができるよう就業規則の改正などを行った。

1 若年就職希望者の県内定着の促進

(1) 学生と県内企業との出会いの場づくり

平成 31 年 3 月卒業予定の学生や一般求職者を対象に、いわて就職ガイダンスを 4 月 7 日(土)に開催した。出展ブース数を増やしたことにより多くの企業の参加が得られたが、学生等の参加者は前年に比べ 62 人の減となった。

首都圏でのガイダンスは、当初 3 月 3 日の開催を予定していたが、岩手 U・I ターンクラブ関連事業との連携や就活早期化を考慮し、日程を約 1 箇月早めて実施した。

平成 32 年 3 月卒業予定の学生等を対象とした就職ガイダンスは、名称を「いわて就職マッチングフェア I」と改め、日程を約 1 箇月早め平成 31 年 3 月に実施することとした。したがって、今年度はガイダンスを 2 回実施することとなった。

回	事業名	開催月日・場所	参加企業/参加者
1	いわて就職ガイダンス	平成 30 年 4 月 7 日(土) (平成 29 年 4 月 8 日(土)) 岩手産業文化センター・アピオ	180 社/380 人 (156 社/442 人) 増減 [+24 社/-62 人]
2	首都圏でのいわて就職ガイダンス (岩手県 U・I ターンフェア II 併催)	平成 31 年 2 月 9 日(土) (平成 30 年 3 月 4 日(日)) 赤坂インターシティ AIR(東京都内)	50 社 /58 人 (61 社/66 人) 増減 [-11 社/-8 人]
3	いわて就職マッチングフェア I	平成 31 年 3 月 16 日(土) (平成 30 年 4 月 7 日(土)) 岩手産業文化センター・アピオ	184 社 /393 人 (180 社/380 人) 増減 [+4 社/+13 人]

※中段は前年度開催実績

(2) 就職活動への支援

平成 31 年 3 月卒業予定の学生や一般求職者を対象に、いわて就職面接会を計画通り 4 回開催した。面接会 I から III まではいずれも出展ブース数を増やしたことにより参加企業数は増えたが、学生等の参加者は前年の実績を下回った。面接会 IV については、「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2018」と初めて併催の形で実施した。

首都圏の学生等を対象とする就職面接会は、6 月 16 日に東京都で開催した岩手県 U・I ターンフェア I と併催して実施した。開催に当たっては、全国の大学等との交流組織である岩手 U・I ターンクラブの発足式等と併せて実施したところ、参加者は前年と比べ 15 人の増となった。

回	事業名	開催月日・場所	参加企業/参加者
1	いわて就職面接会Ⅰ	平成30年6月1日(金) (平成29年6月2日(金)) 岩手産業文化センター・アピオ	185社/199人 (153社/247人) 増減[+32社/-48人]
2	首都圏でのいわて就職面接会 (岩手県U・IターンフェアⅠ併催)	平成30年6月16日(土) (平成29年8月30日(水)) 秋葉原UDXギャラリー-(東京都内)	60社/56人 (54社/41人) 増減[+6社/+15人]
3	いわて就職面接会Ⅱ	平成30年8月22日(水) (平成29年7月19日(水)) 岩手産業文化センター・アピオ	170社/120人 155社/192人 増減[+15社/-72人]
4	いわて就職面接会Ⅲ	平成30年9月21日(金) (平成29年9月14日(木)) 岩手産業文化センター・アピオ	144社/100人 (144社/139人) 増減[±0社/-39人]
5	いわて就職面接会Ⅳ	平成30年12月15日(土) (平成29年11月28日(火)) 岩手産業文化センター・アピオ	55社/72人 (107社/136人) 増減[-52社/-64人]

※中段は前年度開催状況

(3) 就職支援情報の提供

ア インターネットによる情報発信

学生等求職者は就職情報をインターネットにより収集する傾向が強いことから、就職支援システムの改修を行うなど当財団のホームページ上での情報発信を強化した。

12月には、ホームページへの誘引を図ることを目的に、裏面にホームページのQRコードを印刷した名刺サイズの財団紹介カードを3万枚作成し、県内の大学・専門学校、岩手U・Iターンクラブ加盟大学、県内ハローワーク、岩手県東京事務所等124ヶ所に配布した。

【当財団ホームページの活用状況】 ()内は前年度実績

- ◇登録企業数 922社 (846社)
- ◇新規登録企業数 106社 (99社)
- ◇訪問回数 月平均 11,685回 (9,880回)
- ◇アクセス回数 月平均 525,240回 (449,823回)

(注)※訪問回数：当財団のホームページを閲覧した延べ回数(人、回)

※アクセス回数：ホームページ中の閲覧された延べページ数(人、回、ページ)

イ 県内企業の魅力発信

いわて就職面接会の開催に併せ、企業プレゼンテーションや岩手県中小企業団体中央会が主催する県内企業の採用力強化研修を行った。

ウ 求職者の親世代等の目線にも訴える情報の発信

いわて就職面接会等のイベント情報について、県内新聞に広告を掲載するとともに生活情報系のテレビ・ラジオ番組に情報提供を行った。イベント告知ポスターについては、県内主要駅（JR 及び IGR の盛岡駅、矢幅駅、青山駅、滝沢駅）に加え、新たにスーパー等商業施設 17 ヶ所にも掲示した。

また、財団自体の知名度向上のため、通勤、通学の際に多くの県民の目に触れるよう、7月から一年契約で JR 東北本線（40 車両）、IGR いわて銀河鉄道（20 車両）のドア横に財団周知ポスターを掲出している。

2 県外からの U・I ターンの促進

岩手県への U・I ターン就職を希望する学生や一般求職者を対象に、県内企業との面談や県内への就職・移住・定住相談の場として、岩手県 U・I ターンフェアを年 2 回開催した。

フェア I の開催に当たっては、「岩手 U・I ターンクラブ」の発足イベントや「岩手の魅力発信&移住交流トークイベント」も併せて実施したところ、参加者の増加が図られた。

フェア II については、ジョブカフェいわてが主催する「いわてむすび(県内企業と学生の交流会)」と併催で行ったが、当日の天候不良等により前年度より少ない結果となった。

(再掲)

回	事業名	開催月日・場所	参加企業/参加者
1	岩手県 U・I ターン フェア I (いわて就職面接会併催)	平成 30 年 6 月 16 日(土) (平成 29 年 8 月 30 日(水)) 秋葉原 UDX ギャラリー-(東京都内)	60 社/56 人 (54 社/41 人) 増減 [+6 社/+15 人]
2	岩手県 U・I ターン フェア II (いわて就職ガイダンス併催)	平成 31 年 2 月 9 日(土) (平成 30 年 3 月 4 日(日)) 赤坂インターシティ AIR(東京都内)	50 社 /58 人 (61 社/66 人) 増減 [-11 社/-8 人]

※中段は前年度開催状況

3 関係機関との連携

「いわてで働こう推進協議会」をはじめ、県、市町村、関係機関・団体等と連携し、財団主催イベントの充実を図るとともに、いわてで働こう総合イベント「いわてとワタシゴト展」や「ふるさと発見!大交流会 in Iwate 2018」への参画、「グローバルキャリアフェア in いわて」への支援などに取り組んだ。

4 出稼ぎ就労者の援護

(1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害・疾病によって死亡又は休業したときなどに傷病等事故見舞金を給付しており、7月に1件の傷病見舞金を給付した。

▽傷病等事故見舞金の給付状況

給付の種類	事故件数	給付金額
死亡見舞金	—	
傷病見舞金	1	70,000 円
重度障害見舞金	—	
火災見舞金	—	
治療証明書交付手数料	(1)	2,000 円
遺族旅費	—	
計	1	72,000 円

※（ ）内は事故件数の計に含めない。

▽傷病等事故見舞金の具体的内容

出身地	性別	年齢	職業	原因	種類	支給月
花巻市	男性	71	酒造工	社内階段から足を滑らせ転落し頭部打撲で入院	傷病見舞金	7月

(2) 「出稼ぎの^{しおり}菜」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を目的として、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの菜」を2月に発行し、市町村を通じ互助会員に配布した。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎ関係の統計や市町村の関連施策などを載せた「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同で編集して10月に発行し、市町村等に配付した。

5 法人の運営

(1) 適切な資産運用

異次元の金融緩和が続くなか、平成30年度資金運用計画に基づき、運用年限の分散や高金利債券への買い替えなど有利な運用を行った。

資産の運用状況は別紙のとおり。

(2) 計画的、効率的な事業の運営

7月下旬から8月上旬にかけて、大学や専門学校を対象に「いわて就職面接会等に係る大学等訪問調査」を実施し、この結果を基に理事会で「いわて就職面接会のあり方等について」意見交換を行った。これにより、イベント名称の変更や日程の前倒しなどの改善を図った。

また、3月には、平成31年度から2022年度までの財団運営のマスタープランとなるいわて県民計画第1期アクションプラン(2019～2022)に基づく「県出資等法人に係る中期経営計画書」を策定した。

(3) 理事会運営

【第1回理事会】

日時：平成30年5月18日13時30分から

場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成29年度事業報告及び決算の承認、定時評議員会の招集決定、平成29年度職務等執行状況の報告

【第2回理事会】

日時：平成30年10月31日13時30分から

場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成30年度上半期職務等執行状況の報告、いわて就職面接会のあり方等についての意見交換

【第3回理事会】

日時：平成31年3月15日13時30分から

場所：エスポワールいわて

主な議題：県出資等法人に係る中期経営計画書の承認、平成31年度事業計画及び収支予算の承認、平成30年度職務等執行状況の報告

(4) 評議員会運営

【定時評議員会】

日時：平成30年6月7日13時30分から

場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成29年度事業報告・決算の承認、理事・監事・評議員の選任、役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正、平成30年度事業計画・予算の報告

(5) 専務理事報酬の改定

専務理事の報酬について、平成30年4月から役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程第4条に定める年度支給総額の上限額を380万円から420万円に改定した。

実支給額は、年額334万8千円（月額279千円）から396万円（月額330千円）に改定した。

(6) 職員の雇用契約の見直し

事務局次長を4月1日付で正職員とした。また、これに伴い退職金支給規程の改正を行った。

就職支援コーディネーター（3名）については、有期労働契約職員から無期労働契約職員への転換ができるよう就業規則等の改正を行った。また、有期契約職員や無期契約職員を正職員へ登用する場合の基準「職員登用に係る業務遂行能力評価基準」を策定した。